

(様式第7号)

令和元年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市大丹生コミュニティセンター		
指定管理者	西大浦産業株式会社		
設置目的	市民の文化体育活動を促進し、もって豊かな地域社会の形成に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日
所管課	市民文化環境部人権啓発・地域づくり室地域づくり支援課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	7,171				
利用料金(円)	564,124				
指定管理料(円)	8,802,000				

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用者数	8,500人	7,800人	7,171人	92%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	564,100	人件費	3,700,127
指定管理料	8,802,000	維持管理費	4,923,739
事業収入		事業費	21,900
その他	24	その他	252,461
合計	9,366,124	合計	8,898,227
差額			467,897

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	地道なPR活動により、徐々に施設の認知も広がっている。アリーナについては、年内まで利用者数の伸びが好調であったが、冬場の漏水工事期間中の利用者減が残念だった。プールについては、横ばい状況であるが利用者の安定につながっており、今後更なる利用者獲得策の考案が必要と考える。年度後半から、新たな利用者獲得のため、大浦3施設(ふるるファーム、エムズデリ、大丹生コミセン)で効果的な周遊メニューの企画等を指定管理者連携のもと進められており、次年度以降に期待したい。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	地区外からの利用者の取り込みも増加しており、地域住民交流のための拠点施設として利用されている。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	住民に広く開放され、文化体育活動等の促進のために利用されている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	計画どおり実施されている。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	利用料金の値上げ、暗幕故障、漏水工事などにより、前年度より利用者が減少した。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	施設利用者からは、清掃が行き届き、清潔感ある施設を保ち、利用者からも好感が持てる感想が寄せられている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	アンケート・聞き取りを実施している。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	◎	利用者の要望・苦情を聞き取り、利用者の安全確保、アリーナ競技別のラインの維持、漏水苦情への対応を実施。
(3) 管理運営の効率性		

経費の節減が図られたか	○	節電・節水に努め、自前で清掃及び軽補修等できることは外注せず経費削減に取り組んでいる。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	業務委託の複数年契約による割引利用を行うなど経費削減に努めている。
収入増加のための取組が行われたか	○	自主事業を実施するなかで、地元講師による各講座の実施、文化団体等へのPRなど新たな利用者獲得のために努めている。また大浦3施設（ふるるファーム、エムズデリ、大丹生コミセン）の指定管理者間で連携した事業の企画を積極的に進めている。

(4) 適正な管理運営

適切な人員配置が行われたか	○	適切に行われていると思われる。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	研修実施や職員に情報の共有化を図るとともに、それぞれ問題意識を持って仕事に取り組んでいる。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	◎	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	備品の安全点検を随時実施し、危険個所の排除、修繕を行っている。また、プール監視員配置、法定点検、緊急連絡体制確保を実施することにより安全対策に取り組んでいる。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われていた。

(5) その他コメント

サービス向上	<p>定期的な館内清掃を実施し、新型コロナウイルス対策も十分実施しながら、常に清潔で好感が持てる施設となるよう努力し、利用者からも良い評価を得られている。また、水泳講座、手芸講座は徐々に地域に浸透してきており、利用者の獲得と生涯学習の実践の場としての役割を果たしている。</p> <p>さらに、新たな利用者獲得のため、大浦3施設（ふるるファーム、エムズデリ、大丹生コミセン）の指定管理者で連携した事業の企画を自主的に進め、施設間はもちろん、大浦地区の活性化を目指して実施されていることは次年度以降に期待できる取組みとなっている。</p> <p>ゲートボール人口の減少や漏水工事により、ゲートボール場、アリーナの利用者は減少したのが残念であったが、プール等は地道なPR等の成果で現状維持を継続している。今後も継続して利用率向上策を検討し利用者増加につなげていくことが必要である。</p>
経費削減	<p>常日頃から節電・節水に努め、管理業務を委託する時は、複数年で契約し割引を得ることができるよう経費削減対策を実施している。</p> <p>また、メンテナンス、清掃及び軽補修等は、自前でできるところは実施するなど節減努力が見られた。</p>
施設の維持・管理	<p>定期的な施設点検を実施し、備品等の安全確認と危険個所を発見した場合は、早めの修繕等が実施されている。</p> <p>緊急連絡票を作成することで、関係機関、施設間で連絡共有を図れる体制がとられている。</p>

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.5点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>地域の施設として頑張っており、適切に管理されていると思われる。</p> <p>高齢化の著しい地域でよく工夫している。</p> <p>大浦の3施設で連携して事業を進めることは、素晴らしいと思う。大浦半島エリアを盛り上げてほしい。</p>	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均